

ごあいさつ

経営理念「信頼の経営」のもと経済的使命・社会的使命を果たしていきます。

当社は1933年の創業以来、高品質の特殊鋼を安定的に提供することを通じて、幅広く産業を支えるとともに、豊かで文化的な社会の発展に寄与してまいりました。その事業活動において、当社が基軸としてきたのが、経営理念である「信頼の経営」です。誠実・公正・透明な企業経営を推進するとともに、経済的使命・社会的使命を果たすことで、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」という3つの信頼を確立することが、当社の考えるCSRの基本です。

2014年度からスタートした第9次中期経営計画では、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大と成長を目指すことを経営基本方針に掲げています。この“ブランド力”とは、“信頼に応える力”、さらに言えば“期待を超える力”であると考えています。

ステークホルダーの皆様へ信頼に足る企業と認識いただけるよう、今後も実直に「信頼の経営」を推し進めていきます。

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力にさらに磨きをかけるべく取り組みました。

2014年度は、「想定外」との言葉がよく聞かれた、一言で言うなら「変化の大きい1年」でした。当社グループを取り巻く事業環境は、自動車分野向けを中心に需要は堅調に推移しましたが、原燃料価格や為替相場がめまぐるしく変化いたしました。

こうした環境下において、当社は第7次・第8次中期経営計画で整備した設備能力を活かし、さらに非価格競争力を徹底的に追及することで「高信頼性鋼の山陽」のブランド力に磨きをかけるべく、さまざまな取り組みを実施しました。

そのひとつが、2014年10月に発表したフェイズドアレイ超音波探傷を活用した品質保証体制の強化です。当社はこれまでも品質検査のレベルを向上させるさまざまな設備を導入してきましたが、フェイズドアレイの高い欠陥検出能力と、蓄積したノウハウを活かし、品質チェックの精度向上を実現しています。

また、2015年2月には「単一タンディッシュ・浸漬ノ

第9次中期経営計画（2014年度～2016年度）

■ 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大と成長を目指して

- ◇ グローバル競争に打ち勝つための企業体質の更なる強化
- ◇ 技術先進性の拡大
- ◇ 鋼材事業の持続的成長と非鋼材事業の強化によるトータル収益力の向上

国際コスト競争力及び研究開発力・品質対応力・納期対応力・システム基盤等の非価格競争力を強化することで、グローバル競争に打ち勝てる企業体質の構築を図る。これにより、鋼材事業では、拡大が予想される特殊鋼需要を確実に捕捉し、第7次・第8次中期経営計画で整備した設備能力を活かして事業収益を増大する。また、非鋼材事業には積極的に経営資源を投入し、業容拡大することで、グループトータルの収益力強化を図る。

さらに、あらゆる経済環境下でも最善の収益を確保し得る、上下方とも弾力性のある、強靱な企業体質の構築を目指す。

■ 重点施策

- 1) 成長戦略の推進
- 2) グローバル競争力の強化
- 3) 持続的成長を実現するための人材育成
- 4) 投資

ズル交換なし]で100チャージ連々鑄という世界記録を更新。当社の優れた操業技術と、鋼の清浄度の高さを実証する機会になったとともに、高みに挑戦し続ける当社の姿勢をアピールすることができたと考えています。

技術先進性の拡大にも注力し、希少資源であるニッケルやモリブデンを使用しない高強度肌焼鋼ECOMAXシリーズのラインナップを拡充したほか、軽量で導電性に優れた導電フィラー用金属粉末の開発、流動性に優れた高融点の高真球金属粉末の製造に成功。2015年4月には「第2回高機能金属展」にも出展し、注目を集めました。

海外展開に関しては、さらなる伸長が想定される東南アジアのニーズに対応できるよう、タイに素形材製品の製造・販売現地法人を2014年9月に設立しました。今後さらに国内7社、海外10社の関係会社との連携を密にし、グローバルに事業展開する需要家のニーズに応えていきます。

また、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力を支えるのは、言うまでもなく従業員一人ひとりであり、その強化には性別にかかわらず優秀な人材の確保・育成が必須です。そこで2007年に、「2028年3月末までに女性従業員の比率を25%に引き上げる」という目標を掲げ、女性が働きやすい制度・環境を整備してきました。こうした取り組みが評価され、2015年3月に経済産業省による「ダイバーシティ経営企業100選」に鉄鋼メーカーとして初めて選出されました。今後も全ての従業員が持てる力を最大限に発揮できるように人材育成に注力するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性が活躍できる職場づくりに継続して取り組んでいきます。

環境負荷低減に貢献する製品の開発、設備の改善に注力しました。

当社は、事業活動の全ての段階において環境の保全に配慮し、循環型社会の構築に貢献することを「環境方針」に掲げています。

自動車などの部品の長寿命化、小型・軽量化につながる「ECOMAX4」の商品化といった、環境負荷低減に貢献する製品の開発に継続して注力しています。また、製品を製造する設備においても環境に配慮し、重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換や省エネルギーにも継続して取り組んでいます。排熱を利用して燃焼用空気を予熱することで、大幅な省エネルギー効果が期待

できるリジエネバーナードを進めており、2014年度は鋼片や鍛造の加熱炉、アッセルの再燃炉などで実施しました。そのほか、モーターのインバーター化や照明のLED化も進めています。

省エネパトロールも実施し、現場などから出されたアイデアをもとに省エネを進めています。

環境変化に柔軟に対応できる強靱な企業体質の構築を目指します。

電力料金の再値上げや新興国経済の成長鈍化、特殊鋼業界の国際競争の激化と、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き楽観を許さない状況です。

たとえどのような経済環境下であっても、ステークホルダーの皆様の期待に応え、社会の発展に貢献できる企業であるために、「信頼の経営」を基軸としながら、第9次中期経営計画を着実に遂行していきます。たゆまない変革こそが、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力を維持・向上させる確かな方法だと認識し、これからも挑戦を続けていきます。

本報告書を通じて、私たちの活動内容をご理解いただき、一層のご支援とご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長

武田 安夫

